

令和5年度 第8回 豊田市保見地域会議 会議録

開催日時	令和5年11月22日(水)	開会	閉会
		午後7時	午後8時30分
会場	保見交流館1階 多目的ホール		
出席者	地域会議委員：14人		
	会長：湯浅 進也		副会長：田中 治
	委員：大城 一美	大羽 啓允	楓原 和子
	倉知 朋範	深見 浩司	藤田 パウロ
	水嶋 淳	山田 貴啓	山本 昭治
欠席者	4名(篠田 賢悟 福岡 博之 竹崎 佐恵美 森岸 直幸)		
傍聴者	0名		
事務局	猿投支所：広瀬支所長、太田副支所長、岩村(苑)主査		
	1. 豊田市民の誓い(唱和) 2. 会長あいさつ 3. 「第9次豊田市総合計画」に関する諮問について 4. 令和5年度の地域課題解決事業について 5. 令和6年度の地域会議日程について 6. わくわく事業現場訪問について 7. 情報共有・事務連絡		

■ 議事(要約)

3 「第9次豊田市総合計画」に関する諮問

- ・都市構造における「都市拠点」と「えきちか居住誘導エリア」の違いについて、事務局から説明(スクリーン投影資料)
- ・これまでにした意見及び答申書案の骨子の内容を確認(資料2~4頁)

結論：答申書には、都市拠点である浄水や四郷への交通アクセラ等のネットワークを改善することを基本に、本日出た意見を織り交ぜて答申案を事務局で作成し、12月の会議前に郵送し、確認してもらう。

質疑等：八草の場合、市街化区域は維持されるのか。

回答：市街化区域に変更はない。用途地域の規制を緩和する方向で整理している。

質疑等：都市拠点は、周辺地域をカバーする商業施設等を持つが、えきちか居住誘導エリアでは生活に必要な規模の施設を誘導するということか。

回答：先日の市長との意見交換の中でも話が出たが、八草の区域は狭いので周辺地域をカバーするような大型店舗は出店できないと考えられる。地域に居住している人の生活に必要な店舗等は建設できるようにしようとしている。

(主な意見)

- ・都市拠点が難しいなら、それに準ずる拠点としての位置づけにしてほしい。
- ・周りのPTAの人たちに意見を聞いたが、基本的には都市拠点は不要という意見が多かった。近くに大型商業施設ができて、行くのは最初だけですぐに行かなくなる。先日、国道155号線で事故が発生した際、幹線道路が日常的に混雑しているため結

構な渋滞となった。大型商業施設ができると余計に渋滞がひどくなる。生活する上で困らない道路等のインフラ整備がまずは必要だという意見があった。

- ・道路網の計画があるが、整備が進んでいない。
- ・民間企業の大型店舗が進出するのは、それだけの顧客がいるという経済合理性に基づかなければ、あり得ない。八草にそれだけの需要があるとは思えない。
- ・個人的には長久手市のようなまちがいいと思う。教育機関や病院があり、街並みが綺麗に整えられていると感じる。
- ・田畑を自分でやっている人が少なくなり、美しい田園風景ではなくなってきた。
- ・保見団地では日本語が分からなくても暮らしていけるが、住んでいる場所の言葉を学ぶことは必要。大人が学ぶことが子どもにも良い影響を与える。近くに大学があるので、学生に団地に入居してもらい語学を教える体制ができると良い。商業エリアは浄水、四郷で十分なので、保見は教育に特化した地域になるのが理想だと考える。
- ・6月の県議会で、自治区の担い手を確保するため、県営団地に大学生を住居できるように検討が始まったが、あまり進んでいないようだ。自分は大学卒業後に特別使用許可を取って団地に住んでいるが、県の施設なので団地の使用用途に制限が多い。団地は多くの人々の目があり、安全な場所であるので、活気あふれる地域になると良い。諮問の資料で拠点へのネットワークを強化するというのは、その通りだと納得した。
- ・住みよいまちアンケートでは、大都市圏でみると、複数路線の乗り入れがあり乗り換え楽な地域は人気がある。八草もリニモや愛知環状鉄道があるが、そこまでの利点はない。長久手市にアピタ、イオン、イケア等が進出したのは、道路含めインフラができたからだと思う。また、大畑小学校区は山あいにあるため、住宅開発できる土地がない。順番としては住宅、住民を増やすのが先決であり、道路を広げた方がいい。拠点については、どちらとも判断できない。
- ・農業がやりにくくなってきて、やるだけ赤字。農業で収入を確保できれば若い人もやっていたい。具体的な策は思い浮かばないが。
- ・県道で歩道が付いていないところもある。今後の整備について説明があったが、どんな予定で進んでいくのかわからない。長久手が近くてもバスがないので、不便である。⇒拠点へのアクセスなど不便を解消する方向に市へ働きかけていく方がいいということが良いか。
- ・資料3頁の項目3-1を答申に盛り込んでほしい。浄水駅の周辺もどんどん駐車場がなくなっている。
- ・八草は昭和40年代から市街化区域に編入されており、手法として区画整理事業では採算が取れない。今は民間資本による開発ができるように地区計画で用途地域を緩和する方向で進めている。

4 令和5年度 地域課題解決事業

事務局から実施状況を報告（当日資料）

- ・11月11日(土)に環境美化イベントの実施（貝津子ども会、篠原子供会）
- ・アートを活用した啓発活動（11月21日に保見中学校で第1回ワークショップを開催）

質疑：篠原の国道155号の交通量が多いが、危険だという意見はなかったか。

回答：特にはなかった。保護者同伴で行っており、ドライバーに向けての良いPRになるという意見があった。

5 令和6年度の地域会議日程

令和6年度の会議日程について事務局から提示（資料5頁）

⇒推薦団体等で予定について共有し、都合が悪い日があれば事務局に連絡

6 わくわく事業現場訪問

「西古城址を守る会」、「大畑キャラクター広報の会」の活動について訪問した委員から報告（資料6・7頁）

7 情報共有・事務連絡

- ・「保見の歴史を伝える会」が作成したマップを配付
- ・委員継続の検討について依頼
- ・新たな提言について、健康づくりのアンケート集計結果を確認し、各自で回答シートを記入し期限までに事務局に提出（当日資料）
- ・運動公園近くで本年8件目の死亡事故が発生。横断歩道手前で安全確認を。歩行者側もドライバーから認知しやすい恰好で。

（次回の予定）

日時：令和5年12月20日（水） 午後7時から

場所：保見交流館1階 多目的ホール

内容：諮問答申・提言の協議